



令和3年
12月発行
No.116

あなたとともに研修所

けんしゅう

みなさんにとってより身近でありたいと願っています！

宮城県市町村自治振興センター・宮城県市町村職員研修所
〒981-3341 富谷市成田二丁目22番地1（東北自治総合研修センター内）
TEL:022-351-5781 FAX:022-351-5780 E-mail:mousikomi@thk-jc.or.jp
<http://www.thk-jc.or.jp/sityouson/index.html>

受講者の声【新規採用職員研修を受講して】

10月から新規採用職員研修が始まり、D日程まで終了しました。今回は、B日程及びC日程の研修を受講されたお二人から感想をいただきましたので、御紹介いたします。

登米市 南方総合支所市民課 主事 上野 龍斗 さん

今回の研修では、公務員として働く上での基礎となる知識を学習しました。また、他市町村職員との交流を通して、お互いの悩みや疑問が共有でき、貴重な体験が得られました。

地方自治の基本とは「住民の福祉の増進」と学びました。これを成し遂げるよう、常日頃より住民の視点に立ちながら日々の業務に取り組みたいと思います。

4日間にわたる研修の中御指導くださった講師、職員の皆様へ深く御礼申し上げます。今回の研修で得た経験を活かし、目標である地域に愛される職員を目指して日々研鑽し続けます。

ありがとうございました。



石巻市 雄勝総合支所市民福祉課 主事 鈴木 綾音 さん

今回の研修を通して、自分の働きが地域の発展に直に繋がる仕事であることを再確認することができました。

初日の講義で、これからの地方公務員には「問題発見・解決能力」、「専門的な知識・技術」、「職場内・外と円滑なコミュニケーション」の3要素が求められると学びました。この研修の講義や宿泊研修という共同生活の場で、これらの要素を身につける手掛かりを得ることができたと思います。

これからも自治体職員として誇りと責任を持ち、業務を遂行していきたいと思います。

この度は、貴重な学びの機会をいただき、心より感謝申し上げます。



令和4年度研修計画について

令和3年10月26日（火）第2回宮城県市町村自治振興センター研修運営審議会を開催しました。審議会では管理者からの諮問事項である「令和4年度研修計画（案）について」の審議が行われ、原案のとおり答申がありました。

令和4年度の研修計画策定にあたっては、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年度に研修計画を変更し一部研修を中止したことから、階層別研修において受講予定者数が増大しているため、令和3年度に引き続き、階層別研修を優先して実施することとし、密を避けるため定員数を抑え、日程数を調整いたします。

また、専門研修については、研修運営意向調査及び受講者アンケートの御意見等を基に、研修ニーズを反映した計画となるよう努めていますが、階層別研修を優先することから、実務において直ちに役立つ研修を選択し、実施することといたします。詳しい内容については、後日お知らせいたします。



【研修運営審議会の様子】

研修所からのお知らせ

★研修フォローシートについて

研修は、職員の能力向上を図り、それによって業務の向上や組織の活性化を図ることを目的としております。また、研修成果を職場においてより効果的に活用し、業績の向上につなげるためには、研修と職場（業務、OJT、自己啓発）との連携は欠かせません。

研修所では、新規採用職員研修から監督者研修Ⅱまでの階層別研修で「研修フォローシート」を導入してきましたが、改めて目的やねらいを御確認いただき、ぜひ御活用ください。

- ① 研修内容や成果を職場で活用するという意識付けを行うこと
- ② 今後の努力目標を表明することにより、自己啓発を支援すること
- ③ 表明した内容を所属長と共有することで、OJTに活用すること

※所属長コメントについては、実施するかどうかを各団体の研修担当課の判断におまかせしております。

★冬期間の研修受講について

冬期間におきましては教室で暖房を使用いたしますが、新型コロナウイルス感染症対策として1時間に1回程度の換気を行い、教室のドアを常時開けています。そのため、カーディガンやブランケットなどを持参されることや、厚手のインナーを着用されるなど、受講生各自の防寒対策をお願いいたします。

また、研修所にお越しいただく際、特に降雪時は道路の混雑が想定されます。研修所への到着が遅れる可能性がある場合は、御連絡いただき、お気をつけてお越しください。

編集後記

白石市から派遣されております担当の森です。4月に派遣され、あっという間に8か月が経過しました。派遣元の人事担当課より声がかかった時は、正直「まさか、私が!？」と複雑な心境でした。経験も浅く、新たな環境での業務に不安も少なからずありましたが、学びのある日々を送っています。

研修所では県内各地の職員の皆様と会話ができることもやりのひとつです。会話を通して情報を得られるとともに、話題づくりのために新聞や広報、ニュースなどをチェックすることで、視野が広がったように感じています。

今後は、より一層受講生の皆様とコミュニケーションを図り、受講しやすい環境をつくっていきたいと思います。